

## 附属校・公立学校との連携事業活動概要報告書

### 学び方から広がる複式教育

【共同研究者】川村 繁博（和歌山大学附属小学校）古久保 功（田辺市立龍神小学校長）  
中西 大（和歌山大学附属小学校）平井 千恵（和歌山大学附属小学校）  
西口 裕子（和歌山市立鳴滝小学校）上辻 智恵美（海南市立巽小学校）  
木下 雄生（和歌山市立雑賀崎小学校）中川 珠奈（和歌山市立加太小学校）  
【研究代表者】森下 まちこ（和歌山大学教職大学院）

#### 1. はじめに

本研究は、和歌山大学教育学部の地域連携事業として、和歌山市内はもちろん県内・泉南地域の学校の教員が連携し、実践的な研究を行うことを目的としている。

本年度は、研究者に新たに2名（2校）が加わり、計8名（6校）でのスタートとなった。

県下では少子化が進み、過去5年間の推移をみると、小学校においては学校数が、年々増えてきている。このような状況下で、少人数ではあっても個々あるいは集団としての学びを広げ深める複式教育の具体的な実践方法について探っていくことが大きな課題であると考え昨年に続き、本研究に取り組みたいと考えていた。昨年度末に研究部会を開いた折、本年度の反省と次年度の取り組みについて話し合った。そこでは、複数の学校で授業公開をし、協議を重ねていこうとなっていたが、新型コロナウイルス感染拡大状況は良ならず、今年度の計画をほぼ実践につなげることができなかった。

#### 2. 活動の概要

大阪府下、和歌山県下から下記の通り複数校の視察依頼（授業参観及び協議会の実施）を附属小学校が受け入れ、地域貢献を果たしたといえる。

協議会では、カリキュラム編成、教員配置、学び方の指導、司会、記録、フォロワーの役割や定義、直接指導・間接指導などについての質疑応答があった。

7月 和歌山県教育センター学びの丘視察

11月 田辺市立近野小学校視察

12月 岬町立多奈川小学校視察

海南市立北野上小学校視察

田辺市立近野小学校視察

和歌山県教育センター学びの丘 研修用授業動画撮影

1月 県教育委員会複式教育資料提供

また、1月22日には、田辺市立龍神小学校において算数教育研修会があり、5・6年生複式学級の研究授業及び協議会が開催され、参加した。

### 3. 本年度の取組から

本年10月、附属小学校平井千恵教諭が5・6年複式学級において国語科の授業を公開した。5年生は「たずねびと」、6年生は「やまなし」。いずれも、言語活動に「作者になってあとがきを書こう」を設定した。その取組みの中で、『学習メニュー』が話題にのぼった。

以下、実践を終えての平井教諭の振り返りを載せたいと思う。

本学級は複式学級である。そのため、学習を進めるために、その日に行う授業の進め方を記した学習メニューを配布している。子どもはこの学習メニューを読みながら授業を進めるため、教師の出はほとんど必要なくなり、子どもが主体的に学習を進められるようになってきている。

ただ、本時においては、5年生の学習メニューの課題設定に難しさがあったため、教師の出が多くなり、反省の残る授業展開となった。もっとめあてに沿って物語全体から考えるような課題設定にする必要があった。

#### 5年生 学習メニュー

テーマ【「たずねびと」のあとがきを書く】 めあて：作者が作品にこめた思いをとらえる。(全員で読む)	時間	内 容
1. はじめに ①自分の役割を決める。 ②振り返りの時間を決める。		
2 課題1：「たずねびと」はだれか。(全員で読む) 5分 ☆一人学び 13分 ☆学び合い(まとめ入れて13分) それぞれの考えを出し、根拠をもとに話し合う。 ②「たずねびと」を辞書で調べた人いますか？ ③「たずねびと」は〇〇ですか？ ☆まとめ 「たずねびと」は・・・		
3 課題2：作者は、どんなことを考えて題名を「たずねびと」にしたのか。 「ふたりのあや」や「あやちゃん」ではなく「たずねびと」でないといけない理由は？ 5分 ☆一人学び 13分 ☆学び合い どんな方法を使う？ 「たずねびと」でないといけない理由は(全員発表…どんな方法を使う？) ☆まとめ 題名は		
4 ふりかえり ※今回の学習は「あとがきメモ」が重要!!今日の学習をふりかえって丁寧に考えて書く! ①「あとがきメモ」を書く。作者になりきって 私が題名を「たずねびと」にしたのは、…ということ…したかったからです。なぜなら、… ②学び方について ※忘れずに!!	5分	

#### 6年生 学習メニュー

テーマ【「やまなし」のあとがきを書く】 めあて：作者が作品にこめた思いをとらえる。(全員で読む) 方 法：「やまなし」と「イーハートブの夢」をつなげて考える。	時間	内 容
1. はじめに ①自分の役割を決める。 ②振り返りの時間を決める。		
2 課題1：題名が「かわせみ」ではなく「やまなし」であるのはなぜか。(全員で読む) 方 法：これまでの学習や、「やまなし」「イーハートブの夢」を根拠にして考える。 5分 ☆一人学び 題名を「かわせみ」ではなく「やまなし」とつけた理由を考える。 例：題名を「やまなし」は・・・からだ。なぜなら・・・ 題名を「かわせみ」にしなかったのは・・・からだ。なぜなら・・・ 15分 ☆学び合い 方法はどうする？ ①考えを出し合う。 ②五月の幻灯は必要なのでは？なぜ書いた？		
3 課題2：賢治はどんなことを考えながら「やまなし」を書いたのか。 方 法：課題1の情報や、「イーハートブの夢」を根拠にして考える。 ☆学び合い 8分 ①「やまなし」を書いている時、賢治は幸せだったと思うか。 A 幸せ B 幸せではない C 〇〇 8分 ②どんなことを考えながら書いていたのか話し合う。全員？ペア？スバイダー？記録重要! 【ホワイトボード】 ② B A ① 幸せだったか C どんなことを考えながら		
4 ふりかえり ※今回の学習は「あとがきメモ」が重要!!今日の学習をふりかえって丁寧に考えて書く! ①「あとがきメモ」を書く。作者になりきって 例：私が「やまなし」に込めたのは…という事です。なぜなら… ②学び方について 自分の行動や言葉はどうだったか。 ※時間内にかけなければ、自分で時間を見つけて書く。	5分	